

カラフルキッチン とよなかま

コース
自主
事業

とよなかま

申込内容

■事業の概要

地域在住の外国人と日本人との交流をめざす活動をしています。「カラフルキッチン」では講師の言葉、文化を紹介し、料理を作ってみんなで食べます。

■目的

地域に暮らす外国人が増えている一方で、顔の見える交流の場が少なく、外国人は周縁化される傾向があります。子どもたちが他者の言語・価値観・文化を楽しめるもの、身近なものとして捉えられるような事業を企画します。

■交付決定額 142,000 円
(事業予算 284,740 円)



◎活動の様子

平成 27 年 (2015 年) 8 月 3 日 (月)、とよなか国際交流センター (玉井町) にて、ハワイアンカラフルキッチンを開催しました。ハワイアン料理を教えるのはメギーさん。ココナッツミルクを使ったハウピアソースがたっぷりかかった「ハウピアパンケーキ」と「レモネード」づくりに挑戦します。参加したのは 15 人の小学生。加えて 4 人の高校生がボランティアとして参加、保護者 5 人も手伝います。

まず調理の前にみんなでハワイの移民の歴史を学びました。講師の説明を高校生が通訳します。子どもたちは英語に戸惑っていましたが、次第に慣れていき積極的に手を挙げて発表するようになりました。

そして、調理のデモンストレーションを見たあと、4 班に分かれて、バナナを切り、鍋でソースをつくり、パンケーキ生地を焼きました。慣れない手つきで調理する子どもたちのそばで高校生がフォローします。「白いソースとバナナがのってて家のは全然違う。美味しい!」「高校生のお兄さんがいて楽しかった。また来てほしい」と自分たちで作ったものを喜んで食べる子どもたち。

高校生は「繰り返すことで英語を理解していく子どもの吸収の速さに驚いた」「小学生のうちに国際的な体験ができるのは貴重」「作業の順番を待ったりみんなと協力したりしながら、子どもたちはチームプレイを学んでいた」「調理補助や通訳など慣れないことをして大変だったけれど、ボランティアをしてよかった」などと感想を述べていました。

「今後、千里公民館や地域子ども教室で開催することとなり、カラフルキッチンに広がりが出てきました。助成金をいただいて今年で 5 年め、さまざまなことに取り組みながら、必要な経費も補っていきたいと思います」と代表の嵯峨吏佳さん。国際交流のニーズの高さや必要性を理解し、事業を継続するための努力をしている様子が伝わってきました。



◎今後の予定 (平成 27 年度) 8 月 29 日 (土) 13:00~16:00 ロシアン・キッチン

◎リンク [▼とよなかまブログ](#)